

# 収 支 決 算 書

## 収入の部

款	項	目	金額(円)	内訳(節内訳を記載すること)
県支出金	県補助金	教育費県補助金	573,000	子どもを支える人権のまちづくり 促進事業補助金
市費			574,808	
計			1,147,808	

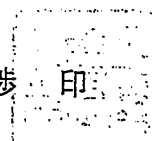
## 支出の部

款	項	目	金額(円)	内訳(節内訳を記載すること)								
教育費	社会教育費	社会同和教育費	1,147,808	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">報償費</td> <td style="text-align: right;">601,000</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">92,600</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">43,303</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">410,905</td> </tr> </table>	報償費	601,000	旅費	92,600	消耗品費	43,303	使用料及び賃借料	410,905
報償費	601,000											
旅費	92,600											
消耗品費	43,303											
使用料及び賃借料	410,905											
計			1,147,808									

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年 4月10日

草津市長 橋川 渉



事業実施計算書

市町名

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	191,000	円 ふれあい事業 (老人を敬う会) @3,000×3人×5回 = 45,000円 11/3 98人(内子ども40人) ( ) @6,000×4人×1回 = 24,000円 7/28 人形劇 31人(内子ども20人) 1/19 昔あそび(2人分)25人(内子ども8人) 2/4 人権コンサート 68人 (キャンプ) @6,000×6人×2日 = 72,000円 8/2~8/3 31人(内子ども14人) (人権講座) @50,000×1人 = 50,000円 2/8 50人
	旅費	23,600	円 ふれあい事業 (キャンプ) @1,300×1人×2日+2,500 = 5,100円 @1,100×3人×2日+2,500×3人 = 14,100円 事前打合せ @2,200×2人× = 4,400円
	使用料及び賃借料	91,420	円 ふれあい事業 (キャンプ) @91,420×1台 = 91,420円
	合計 (A)	306,020	

【補助金額 (A)×1/2】

153千円

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

# 平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

- ① 困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする館内の現状の変化  
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

### ② 取り組みの成果

[REDACTED] や子ども会活動などを通じて、児童生徒同士・親のつながりを深め、自己肯定感の醸成やリーダー育成につなげるための活動に取り組んできた。また保護者・地域運動団体が [REDACTED] に向けた積極的な運動を展開してきたことにより、子どもたちも自分の将来に向けて前向きにとらえられるようになってきている。特に近年、高校生生の各種集会への参加や町内子ども会活動等への参加も見られるようになって来ており、町内の子どもたちの縦のつながりが一層深まってきている。

### ③ 今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

今後も、子ども一人ひとりが自己存在感・自己肯定感を体感することのできる場を数多く作り、町内異年齢者間の交流や町内保護者の思いや願いを受け止めることができるよう様々な視点での働きかけをすることで、それぞれが将来に向けた明るい展望を持てるようにする。

### 事業の内容

名称	① ふれあい事業		
対象	町内住民(子ども・大人)		
内容(テーマ)	年間を通じ、ふれあい事業を通して子どもの育成、住民相互交流・保護者の学びの場として実施した。		
参加者(うち児童生徒数)	303人 (82)人		
実施場所	[REDACTED] 福井県若狭		
開催期日	11/3 7/28, 1/19, 2/4 8/2-8/3 2/8		
開催時間	28 時間		
事業実施による成果	同和問題の解決に対する意識の向上と住民交流の促進に寄与できた。		

※ 1市町において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと  
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町名 XXXXXXXXXX

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	185,000	円 子どもを支えるまちづくり事業 (講師謝礼) 【部落問題学習合宿(竜王町)】 9,000円×3人×2日=54,000円 10,000円×1人×1日=10,000円 【 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 】 3,000円×8人×1日=24,000円 【保護者懇談会】 3,000円×5人×1回=15,000円 3,000円×7人×1回=21,000円 3,000円×7人×1回=21,000円 【福祉と人権講座】 20,000円×1人×1回=20,000円 10,000円×1人×2回=20,000円
	旅費	26,800	円 子どもを支えるまちづくり事業 【部落問題学習合宿(竜王町)】 半日日当1,300円×2日×1人=2,600円 半日日当1,100円×2日×5人=11,000円 宿泊料指定 日当2,200円×6人=13,200円
	消耗品費		
	印刷製本費		
補助対象経費	通信運搬費		
	保険料		
補助対象経費	雑役務費		
	使用料及び賃借料	129,465	円 子どもを支えるまちづくり事業 【部落問題学習】合宿バス借り上げ (希望が丘文化公園 竜王町) 39,900円×1回=39,900円 施設借り上げ (希望が丘青年の城 竜王町) 35,525円×1回=35,525円 【子育て講座】バス借り上げ (京都岡崎動物公園 京都市) 54,040円×1回=54,040円
合計	(A)	341,265	
			【補助金額 (A)×1/2】 【170千円】

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。委託料については事業の経費内訳を詳細に記入すること。

## 平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 XXXXXXXXXX管内区域 XXXXXXXXXX

- ①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化  
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

## ②取り組みの成果

地域内の交流を深め、部落問題を中心とした人権について正しい理解と認識を深めていくために各種事業を継続している。また、XXXXXXXXXXに負けない人間育成と仲間づくり・まちづくりを目指して各種事業を展開しており、地域住民の部落問題に対する認識が深まっていると考えている。

## ③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

家庭教育における子どもへの影響は大きく、子どもと共に大人も学べる場を提供する必要がある。地域内の交流を始め、親と子、大人の学習機会を設定して、次代を担う子ども達の健全な育成を図るとともに、家庭から地域へと人権尊重の輪を広げていくものとする。

## 事業の内容

名 称	①子どもを支える人権のまちづくり事業		
対 象	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 住民(大人・子ども)		
内 容 (テーマ)	年間を通じ、事業を通して子どもの健全育成や住民相互の交流を図る。部落差別をはじめとする人権問題についての認識を深める。		
参加者 (うち児童生徒数)	約500人 (約140)人		
実施場所	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 希望が丘文化公園(竜王町) 京都市動物園他		
開催期間	平成19年 4月 1日 ～ 平成20年 3月31日		
開催時間	延べ30時間		
事業実施による 成 果	部落問題を始めとするあらゆる人権問題に対して、正しい理解と認識が培われるよう事業を続けている。地域住民の部落問題に対する認識は深まっていると考えている。		

※1市町において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと  
※事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町名

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	163,000円	○人権福祉連続講座 講師報償費 ◇10,000円×5回=50,000円 ○夏期キャンプ 講師報償費 ◇1,500円×(5h+5h)×5人=75,000円 ○将来について考えよう 講師報償費 ◇5,000円×2人×2回=20,000円 ○進路学習会 講師報償費 ◇1,500円×2時間×2人=6,000円 ◇1,500円×4時間×2人=12,000円
	旅費	22,000円	○夏期キャンプ ◇下見 2,200円×2人×1日=4,400円 ◇当日 2,200円×4人×2日=17,600円
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
使用料及び賃借料	91,420円	○夏期キャンプ ◇バス賃借料 (通行料・消費税含む) 91,420円	
委託料			
合計 (A)		276,420円	

【 補助金額 (A)×1/2 】 【 138千円 】

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。委託料については事業の経費内訳を詳細に記入すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 \_\_\_\_\_  
管内区域 \_\_\_\_\_

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化  
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

②取り組みの成果

- ・自尊感情を育むことに主眼をおいて、地域の保護者や先輩達とともに、研修や活動を行っている。特に各行事に参加している子どもたちは、仲間とともに人権感覚を育みながら、自己実現に向けて前向きに努力しようとしている。しかし、参加者が少ないことは課題である。
- ・全体としては、個別の関わりが必要な子どもも多いが、自信をもって意欲的に取り組む姿も見られるようになってきた。また、周りの友達ともぶつかり合いながらもよりよい関係を作っていこうとする気持ちが感じられる。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

- ・参加者にとっては有意義な研修や行事ができていると思うが、参加者が少ないことは課題である。子どもたちの心を豊かに育てていくために、まず、子どもたちを取りまく大人の心の豊かさ、人間関係の豊かさを培うことが必要である。参加者を増やしていくとともに、地域の高校生や保護者のつながりを強め、力を合わせて子どもと関われるようにしていきたい。

事業の内容

名 称	人権福祉連続講座	夏期キャンプ	将来について考えよう	進路学習会
対 象	地域住民	地域の小学4年生～ 中学3年生	地域の小学生	地域の中学生とその保護者
内 容 (テーマ)	同和問題をはじめとするあらゆる人権と福祉を柱とした学習機会を重ねることで同和問題の早期解決と人権尊重のまちづくりにつなげることを目指す。	部落問題学習・自然体験活動から差別解消に向け自ら働きかける子どもたちを育てる。	さまざまな職業についておられる方をゲストティーチャーとして招き、将来の夢をかなえるために努力したことや必要なことについてお話を聞く。	高校や大学に対する意識を、早い時期から高め、就労の安定および生活の安定へとつなげる。
参加者 (うち児童生徒数)	128 人 ( ) 人	45 人 ( 24 ) 人	90 人 ( 45 ) 人	23 人 ( 13 ) 人
実施場所	_____ および その周辺	国立若狭湾 青少年自然の家	_____ および その周辺	_____ および 市内の大学
開催期間	平成19年11月13日 ～ 平成20年2月12日	平成19年8月4日 ～ 平成19年8月5日	平成19年6月12日 ～ 平成20年2月 5日	平成19年11月17日 ～ 平成19年12月6日
開催時間	12 時間	20 時間	4 時間	6 時間
事業実施 による 成 果	<p>・事業を通して、今後のまちづくりに明るい展望を見いだしていくための方向性は見えていたように思う。しかし、地域住民相互の理解、交流という面では、参加者が少なかったこともあり十分に目的を果たせたとは言えない。</p> <p>・子どもたちに関わっては、これまでの「自尊感情を育む」という流れを受けた取り組みを通して、子どもたち自身の安定と、そこから自分自身の将来に展望を持って努力する子どもたちが育ちつつある。しかし、まだまだ課題を抱えた子どもも多く、豊かな人権感覚を持った子どもたちのつながりを今後も目指していきたい。</p>			

※1 市町において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと  
※事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町名

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	62,000 円	講師謝礼 人権・子育て講座 26,000円 冬のスポーツ教室 36,000円 (@1,500円×6時間×4人)
	旅費	20,200	子育て講座 6,600円 (@2,200円×3人) 冬のスポーツ教室 13,600円 (@2,200円×5人) (@2,600円×1人)
	消耗品費	43,303	子育て講座 43,303円 紙ひこーき作り 13,208円 人形劇 30,095円
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
	使用料及び賃借料	98,600	冬のスポーツ教室中型バス借り上げ料 98,600円
	委託料		
	合計 (A)		224,103

【 補助金額 (A)×1/2 】

【 112千円 】

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成する。委託料については事業の経費内訳を詳細に記すこと。



## 平成19年度子どもを支える人権のまちづくり事業実績

施設名

管内区域

## 事業の内容(つづき)

名 称	子育て講座	子育て講座	
対 象	およびの 住民	およびの 住民	
内 容 (テーマ)	保護者が子どもたちの健全な育成を願うきっかけの場とするとともに、地域住民の交流と親睦を図る(紙ひこき作り)	保護者が子どもたちの健全な育成を願うきっかけの場とするとともに、地域住民の交流と親睦を図る(人形劇を楽しもう)	
参加者 (うち児童生徒数)	35人 (28人)	26人 (18人)	
実施場所			
開催期間	平成19年11月3日	平成20年3月1日	
開催時間	3時間	2時間	
事業実施による成果	地域住民の交流と保護者同士、子ども同士のつながりの深化、また、同和問題に対する意識の高まりを期待する。		

※1市町において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

※事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり事業実績

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化  
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況)

[REDACTED]

②取り組みの成果

講演会や保護者交流会等を実施した、内容を親子で共に活動する事業を企画したところ、参加者の増加が見られた。

気軽に親子で参加してもらえる内容とし、親子での活動の時間を十分とるように計画した。また、人権学習講座については、「いま学校で子供たちが学習していること」という親に関心のある内容を依頼し、啓発にも工夫してきた。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

どの事業についても、興味を引くわかりやすく理解されやすい参加しやすい内容にしていく。親と子、親同士、子同士の活動の時間がとれるよう計画する。

事業内容

名称	冬のスポーツ教室	人権学習講座	子育て講座
対象	[REDACTED]の親子	[REDACTED]および [REDACTED]の住民	[REDACTED]の親子
内容 (テーマ)	冬のスポーツ(スキー)を通じ、地域住民の家族ぐるみでの交流促進を図る	[REDACTED]及び [REDACTED]住民の同和問題に対する意識の高揚を図る	親子が自然の中で、ともに活動することで、お互いの触れ合いを楽しみ、子ども達の健全な育成を図る。 (親子で湖北へハイキング、史跡を訪ねて)
参加者 (うち児童生徒数)	37名 (25名)	30人	13人 (7人)
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED]	湖北町ほか
開催期間	平成20年2月9日	平成19年8月31日～ 平成20年2月15日	平成19年8月19日
開催時間	12時間	4時間	9時間
事業実施による成果	地域住民の交流と保護者同士、子ども同士のつながりの深化、また、同和問題に対する意識の高まりを期待する。		

※1市町において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

※事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

# 事業実施計算書

市町名 草津市

区分	費目	金額	積算の基礎	
		円		円
補助対象経費	報償費	601,000	■■■■■	62,000
			■■■■■	163,000
			■■■■■	185,000
			■■■■■	191,000
	旅費	92,600	■■■■■	20,200
			■■■■■	22,000
			■■■■■	26,800
			■■■■■	23,600
	消耗品費	43,303	■■■■■	43,303
	印刷製本費			
通信運搬費				
保険料				
雑役務費				
使用料及び賃借料	410,905	■■■■■	98,600	
		■■■■■	91,420	
		■■■■■	129,465	
		■■■■■	91,420	
委託料				
合計 (A)		1,147,808		
			【 補助金額 (A)×1/2 】	【 573 /千円】

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。委託料については事業の経費内訳を詳細に記入すること。

様式第2-1号(第8条関係)

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書(総括表)

市町名 草津市

(単位:円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳										
		報 償 費	旅 費	消 耗 品 費	印刷製本費	通信運搬費	保 険 料	雑 務 費	使用料及び賃借料	委 託 料	計	
ウ・エ	人権・子育て講座	26,000	6,600	43,303	0	0	0	0	0	0	0	75,903
ウ	冬のスポーツ教室	36,000	13,600	0	0	0	0	98,600	0	0	0	148,200
エ	人権福祉連続講座	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000
ウ	夏期キャンプ	75,000	22,000	0	0	0	0	91,420	0	0	0	188,420
ウ	将来について考えよう	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
ウ	進路学習会	18,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,000
ウ・エ	子どもを支えるまちづくり事業	185,000	26,800	0	0	0	0	129,465	0	0	0	341,265
ウ・エ	ふれあい事業	191,000	23,600	0	0	0	0	91,420	0	0	0	306,020
	合 計	601,000	92,600	43,303	0	0	0	410,905	0	0	0	1,147,808